



石川労福協

第 479 号 2007年12月15日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田弘志
 編集人 綿 征一
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

石川労福協第4回理事会

来秋に『無料職業紹介所』を開設



「第4回理事会」



「第3回就業支援連絡会議」
「ジョブとくしま」

県労福協第4回理事会が12月6日(木)、フレンドパーク石川で開かれ、勤労者の就業支援を目的とした無料職業紹介所「ジョブいかわ(仮称)」の開設について協議した他、連合石川の役員改選に伴い狩山久弥氏(連合石川・事務局長)、曾谷修氏(連合石川・JP労組)、光林邦彦氏(連合石川・JAM労組)を理事に選任。平成20年度自治体要請行動、緊急サポートネットワーク事業、LSC関係の報告や2007年度上半期の決算報告・会計監査報告を承認した。

また、「2008年新春の集い」を連合石川と共催で1月8日(火)に金沢都ホテルで、「第31回石川労福協研究集会」と「第4回ライフ・サポートセンター代表者会議」を2月29日(金)に金沢スカイホテルで、それぞれ開催することを確認した。

尚、次回理事会は、2008年2月19日(火)10時よりフレンドパーク石川で開催する。

『無料職業紹介所』視察・研修



「ジョブおかやま」

石川労福協は11月6日の「平成20年度石川県の施策に対する要請書」の提出時、谷本正憲知事に対し『無料職業紹介所』の設立構想を紹介。11月26・27日に才田巖専務理事と綿征一常務理事が職業紹介所を設置している岡山・香川の労福協を視察した。

26日の岡山労福協では、枝木俊彦事務局長が2005年11月1日より開設した無料職業紹介所「ジョブおかやま」の事業許可までのプロセスや職業紹介責任者の選任、認可手続き、業務の運営に関する規定、広報宣伝方法等を詳しく説明。ハローワークと相談員(専従1名)が連携し展開している事業について「きめ細やかなカウンセリングで人材・仕事探しのお手伝いをしている」と話した。

翌日の香川労福協では、杉林利夫専務理事と山田文士相談員が対応。2005年7月1日に開設した「ジョブかがわ」は香川県委託の労働施策アドバイザー事業と香川県地域労使就職支援機構委託の雇用支援制度導入奨励金の案内を事業の一環とし進めている。主体的には、山田相談員が企業訪問し求人情報を収集、求職者の面接をした後、会社面接に同行する等「求人企業に信頼される求職者を紹介し、信頼関係を創りあげることが、次の求人につながる」と力説した。

また、12月10日には中央労福協主催「第3回就業支援連絡会議」が徳島市で開催され、才田専務理事が参加。各地域での就業支援について意見交換した。

この後、山口労福協の「ジョブやまぐち」の視察と、来年2月29日開催の「第31回石川労福協研究集会」で、徳島労福協の「ジョブとくしま」の事業内容について講演を予定している。以上の4県が現在、労福協『無料職業紹介所』を開設している。



「ジョブかがわ」

無料職業紹介所「ジョブいしかわ(仮称)」 開設に向けて

無料職業紹介所「ジョブいしかわ」の開設に向けて

1. 基本的考え方

石川県における「求人・求職」の相談は、ハローワーク(県内に10ヶ所)を中心に展開され、また、若年層(35歳未満まで)を対象にした「ジョブカフェ石川」が定着している。(平成19年9月期における石川県内の有効求人倍率は1.35倍となっている)

労福協は、昨年11月に「福祉なんでも相談」の窓口を開設し1年が経過した。相談受付件数は年間25件であったが、11月20日から電話による受付を開始したところ、10日間で15件と増えている。相談内容はクレ・サラ相談が延べ10件と最も多いが、中には就職相談も数件ある。また、連合石川が実施している「労働なんでも相談」には月平均10件程度の相談があり、就職相談も含め多岐にわたっている。

労福協は、中央労福協が提唱する、勤労者の就業支援をライフ・サポートセンター活動の一環として位置づけて、働き盛りの中高年者層の求職者や団塊世代の再就職希望者の就職先を支援するために、連合石川と連携して無料職業紹介事業「ジョブいしかわ(仮称)」の設立に向けて準備を進める。

また、これを機会に県ライフ・サポートセンターを「暮らしの総合サポートセンター」として、福祉なんでも相談、緊急サポート事業、労働相談、石川勤労者互助会も含めトータルに運営することも視野に入れ、連合石川、事業団体と協議を行っていく。

2. 事業概要

(1)県内の働く意欲のある求職者の早期就職を目的

石川労福協・連合石川共催 「2008 年新春の集い」

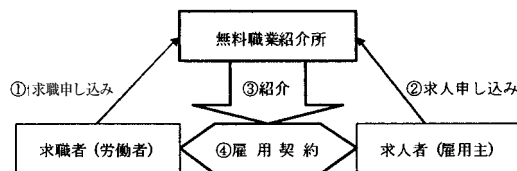
1. 日 時 2008年1月8日(火) 11:00~12:30
2. 場 所 金沢都ホテル7F「鳳凰の間」
3. 要請人数 労福協 60名、連合石川 200名
4. 参加費 1人 5,000円

第31回石川労福協研究集会 第4回ライフ・サポートセンター代表者会議

1. 日 時 2008年2月29日(金)
2. 場 所 金沢スカイホテル
3. 要請団体 各事業団体、連合石川、ライフ・サポートセンター
4. 内 容 徳島労福協「ジョブとくしま」の事業説明 他

に、県下の求人・求職情報を収集し、求職者の希望、適性、経験等を面談により把握したうえで求人企業に紹介する。なお、求人情報の収集は、ハローワーク等の情報と労福協スタッフが企業訪問を行い情報を収集する。

(2)無料職業紹介所のシステム



- ①求職申し込み
 - ・求職者によるキャリア登録と面談による相談を行う。
- ②求人申し込み
 - ・労福協スタッフによる求人情報の収集を行う。(企業訪問)
 - ・ハローワークや職業紹介誌等から求人情報を得る。
- ③求人情報の提供および紹介
 - ・相談と紹介およびインターネットや求人情報誌の閲覧。
 - ・求人企業向け情報提供サービスの実施
- ④雇用契約書の作成・締結の指導

<県ライフ・サポートセンターの新イメージ>



3. 開設日

2008年秋予定

<11月>

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 26(月) 岡山・香川労福協視察(～27日) | 岡山・香川県 |
| 28(水) 第2回食・みどり・水ネット総会 | フレンドパーク石川 |
| 29(木) 公益法人制度改革説明会 | 県庁 |
| 30(金) 第8回フレンドパーク石川運営委員会 | フレンドパーク石川 |
| 〃 顕彰会実行委員会 | 金沢市内 |

<12月>

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 3(月) 第38回石川県消費者大会第3回実行委員会 | フレンドパーク石川 |
| 〃 第2回石川県消費者学校 | フレンドパーク石川 |
| 5(水) さわやかU第2回あり方検討委員会 | 労済会館 |
| 6(木) 第4回石川労福協理事会 | フレンドパーク石川 |
| 〃 石川労働局との打合せ | 駅西合庁 |
| 7(金) 第39回食・緑・水ネット全国集会(～8日) | 滋賀県大津市 |
| 8(土) 「魚食・漁業問題について考える」フォーラム | 石川県水産会館 |
| 10(月) 労信協第4回理事会 | フレンドパーク石川 |
| 〃 第3回就業支援連絡会議(～11日) | 徳島市 |
| 〃 第30回石川社会法律センター総会 | 北陸会館 |
| 12(水) フレンドパーク石川「防犯・防災講習会」 | フレンドパーク石川 |
| 13(木) 連合石川総研「第14回定期総会」 | フレンドパーク石川 |
| 14(金) 3県連合・労福協・北陸労金連絡会議 | 氷見市 |
| 15(土) ろうさんフェスタ2007 | 石川県産業展示館 |

事務局日誌

中央労福協第58回定期総会

「活力ある福祉社会地域共生で暮らしに夢を」

中央労福協の第58回定期総会が11月21日(水)、東京都内の「ホテルラングウード」で開催された。

総会には49労働団体、14事業団体、47地方労福協の代議員、オブザーバーら240名(委任49名を含む)が参加し、2008～2009年度の活動方針や笹森清会長の再任と高橋均事務局長を新任とする役員体制などを決定した。



笹森会長



冒頭、故笠山利文元会長に全員で黙祷を捧げた後、笹森会長は「中央労福協はこの2年間、格差社会の是正と破壊された地域社会の再生に向け運動を進めてきた」と述べ、ワンストップサービス(総合生活支援サービス体制)とクレ・サラ運動について「地域を生きかえらせ、法律を改正させる等、運動に一定の自信を持つことができた」と総括し、「多重債務者対策や割取法改正をはじめ、働く者の共生、助け合いの仕組みを構築し、日本社会全体に役立つ運動を作り上げていきたい」と挨拶を締め括った。

続いて、来賓の高木剛日本労働組合総連合会会長、森英介自由民主党労政局長、藤井裕久民主党最高顧問、谷口和史公明党労働局長、福島みずほ社会民主党党首、氏兼裕之厚生労働省労働基準局勤労者生活部長、宇都宮健児日弁連多重債務対策本部長代行、阿部保吉退職者連合事務局長が順に挨拶した。

笹森会長より菅井義夫事務局長(右)を受け取る



高橋新事務局長

菅井義夫事務局長より2006～2007年度活動報告を、小竹信行事務局次長が2007年度(第60期)会計決算報告を、山本正彦監査が会計監査報告をし、それぞれ承認された。

休憩後、2008～2009年度活動方針案、2008年度(第61期)予算案を北村祐司事務局次長と小竹事務局次長が提案し、1名の代議員よりの要望を踏まえ満場一致で承認。役員改選と菅井義夫前事務局長の参与の委嘱も承認された。

最後に、「活力ある福祉社会地域共生で暮らしに夢を」とするスローガンを採択し総会を終了した。

尚、総会には石川労福協より才田巖専務理事と綿征一常務理事が代議員として出席した。

日本ILO協会「2007年度海外労働事情調査団」 石川県より八木氏と坊氏が参加

(財)日本ILO協会主催の「2007年度海外労働事情調査団」は、「欧州における雇用形態の多様化と労働者保護」をテーマに10月17日から27日まで、イギリス・スイス・フランスを訪問した。



全国の労働団体と使用者団体からの19名にコーディネーター1名(新井力連合総国際局長)、ILO事務局1名を加えた総勢22名の調査団は、イギリス政府の貿易産業省(BEER)や経営者団体の産業連盟(CBI)、労働組合会議(TUC)と意見交換した他、フランスの経営者連盟(MEDF)と労働組合団体とも話し合った。また、スイスではILO本部を訪問した。

尚、石川県からは、連合石川の八木晴雄副会長、坊真彦副会長が参加した。

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員募集状況／サポート状況 11月30日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	3	2 (+1)
わじま	2	8	3 0
ななお	4	2	1 0
はくい	1	5	0 0
かほく	10	37 (+1)	14 (+5)
かなざわ	75	200 (+6)	243(+47)
はくさん	22	53 (+1)	35 (+6)
こまつ・のみ	12	24 (+1)	17 (+3)
かが	3	4	0 0
計	135 (0)	336 (+9)	315(+44)

()は前月比。尚サポート回数は、今年度の総数

勤文協
主催

第57回石川県勤労者美術展

石川県勤労者文化協会主催
「第57回石川県勤労者美術展」が
11月14日から18日まで金沢勤労
者プラザで開催された。

日本画、洋画、書道、写真、手工
芸の5部門で日頃、創作活動に励
む会社員や主婦、招待者(過去、
同展の大臣賞受賞者)らの意欲作
293点が展示された。

同展は昭和26年、石川県が「勤労者文化祭」として開催。昭和43年に県勤労者文化協会が設立され、第18回より勤文協が引き継いで開催している。



11月14日、9時30分より同会場
で開会式が行われ、主催者を代表し
才田巖勤文協副会長と渋谷秀行県
商工労働部労働企画課長が挨拶。
後援・協賛団体の吉田歩金沢市産
業局労働政策課長、上田弘志県労
福協理事長(連合石川会長)、橋本和
雄全労済県本部理事長が祝辞を述
べた後、テープカットを行い、勤文
協顧問の先生や出品者代表らによ
るクス玉割りで開場した。

これに先立ち、11日と12日には

同会場で11名の審査員が厚生労働大臣賞、石川県知事賞、勤文協会長賞、北國新聞社長賞、金沢市長賞、北陸放送社長賞、連合石川会長賞、石川県議会議長賞、金沢市議会議長賞、石川県労働者福祉協議会理事長賞、北陸労働金庫石川県本部長賞、全労済石川県本部理事長賞各1点と佳作数点を決めた。

勤文協華道部の会員による生け花で飾られた会場には、期間中約1000名を超す来場者があり、それぞれの作品をじっくり鑑賞した。

作品をじっくり鑑賞した。

最終日の18日、同会場で閉会式が行われ、本田保雄北國新聞社事業部長、水野志郎全労済県本部専務理事らが挨拶し、各部門の審査員が講評した後、受賞者に表彰状などが贈られた。

厚生労働大臣賞、県知事賞、県議会議長賞を受賞した作品15点は、21日～27日の間、県庁19階展望ロビーに特別展示された。



入賞者の皆さん

光早苗(津幡)▽知事事實 鹿
 島理子(金沢)▽知事市長 鹿
 鍋島茂明(金沢)▽北國新
 聞社社長 古道恵子(津
 幡)▽北陸放送社長 谷 鋪
 ちづ子(金沢)▽勤文協会長
 賞 藤野敦子(▽)▽連合
 石川会長賞 広島敏子(金
 沢)▽県議會議長賞 竹俣博
 子(同)▽市議會議長賞 竹
 田邦子(同)
 ◎洋画▽厚労大臣賞 石田
 紀子(内灘)▽知事實 田
 中宏見(金沢)▽金沢市長賞
 有田和左(能美)▽北國新
 聞社社長賞 平山利雄(七
 尾)▽北陸放送社長賞 星孝
 次(金沢)▽勤文協会長賞
 連井千代(小松)▽労働協理
 事長賞 有田信喜(能美)▽
 連合石川会長賞 橋正徹(穴
 水)▽県議會議長賞 水口恵
 美子(金沢)▽市議會議長賞
 島真理子(内灘)▽労働県
 本部長賞 梶川康子(金沢)
 津幡)▽佳作 出村和代
 (金沢) 鶴岡俊行(かほ智
 村朝子(金沢) 新宅義
 雄(小松) 神崎源一(金
 輪島 北崎辰二(金
 沢) 荻秀雄(同) 沢谷
 豊久(内灘) 斉藤美智
 子(金沢) 岡本大司
 (同) 小川政之(同)
 ◎書道▽厚労大臣賞
 松山節子(金沢)▽知
 事賞 清澤雅子(伊川
 ▽金沢市長賞 伊川
 さつき(内灘)▽北國新
 聞社社長賞 耕納喜美
 子(金沢)▽北陸放送社
 長賞 木村昭(同)▽勤
 文協会長賞 前川久栄
 (同)▽労働協理事長賞
 井村礼子(同)▽連合
 石川会長賞 池田絹子
 (同)▽県議會議長賞
 辰田佳寿子(同)▽市議

會議長賞 中塚悦三(同)▽
 金県本部長賞 北祐子(小
 金沢)▽市議會議長賞 木
 山(同)▽佳作 塩土建夫(金
 沢) 里見晴代(同) 中野静枝
 (同) 高由起(同) 近藤邦子(同)
 三浦利明(中能登) 藤田泰子
 小松坪由紀子(金沢) 中本嘉
 子(同) 倉谷小夜子(同) 中村康
 ◎写真▽厚労大臣賞 柴田
 朋子(内灘)▽知事實 中村
 克子(金沢)▽金沢市長賞
 一明政行(同)▽北國新聞社
 社長賞 東美千代(同)▽北
 陸放送社長賞 番字一光(加
 賀)▽勤文協会長賞 村田泰
 恵(金沢)▽労働協理事長賞
 元木千明(同)▽連合石川
 会長賞 山下静子(同)▽県
 議會議長賞 朝津保(加賀)
 市議會議長賞 塩土建夫
 (金沢)▽労働県本部長賞
 井波公(同)▽全労理事長
 大川ひろみ(内灘)▽佳
 紀子(同) 上田清(同) 坂本
 和美(津幡) 中井敏雄(同)
 砂田弘司(同) 下村孝一
 山木谷芳史(金沢) 長澤博
 (金沢) 山本昭子(津幡) 高
 橋賢一(野々市 東川国康
 (津幡) 城戸康平(金沢) 沢
 野明久(かほ)
 ◎手工芸▽厚労大臣賞 小
 坂昌子(金沢)▽知事實 米
 田敦子(金沢)▽金沢市長賞
 宮本都也子(金沢)▽北國新
 聞社社長賞 安江富美子(同)
 北陸放送社長賞 村田順子
 (能美)▽勤文協会長賞
 谷 進(内灘)▽労働協理事
 賞 古田みのり(内灘)▽連
 合石川会長賞 山本典子(白
 山)▽県議會議長賞 浦サタ
 (中能登)▽市議會議長賞
 北山美奈子(金沢)▽労働県
 本部長賞 岩下文子(かほ
 ▽全労理理事長賞 寺井
 克幸(金沢)▽佳作 本間孝
 子(同) 中山和良(同) 早瀬
 比呂白(山安藤さおり(能美)

日本画



厚生労働大臣賞
「挽歌」 硯光 早苗



石川県知事賞
「アンジェラ（天使）を求めて」 鹿島 理子



勤文協会会長賞
「春陽薄光」 藤野 敦子

洋画



厚生労働大臣賞
「収穫」 石田 紀与子



石川県知事賞
「近江町市場」 田中 宏見

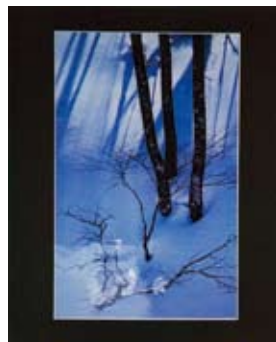


勤文協会会長賞
「昔日の想い（唐箕）」 蓮井 千代

写真



厚生労働大臣賞
「愛し子（いとし）」 柴田 朋子



石川県知事賞
「早春譜」 中村 克子



勤文協会会長賞
「雲上の嶺々」 村田 泰恵

書道



厚生労働大臣賞
「平家物語の一節」 松山 節子

手工芸



厚生労働大臣賞
「角合せ文花の器」 小坂 昌子



石川県知事賞
「佛心というは大慈悲これなり」 清澤 雅子



勤文協会会長賞
「一華開五葉」 前川 久栄



石川県知事賞
「エンゼルの願い」 米田 敦子



勤文協会会長賞
「野焼面（翁）」 大谷 進



石川労福協や連合石川、民主党県総支部連合会、社民党県連合で設立した「石川県大衆運動活動家顕彰会」の第7回合祀追悼会が11月23日、金沢市卯辰山の顕彰碑前で行われ、参列した遺族ら約50名が運動に身を投じた活動家191名の功績を讃えた。

寒空の下、顕彰会の上田弘志会長が挨拶し、労福協の才田巖専務理事が「設立趣意書」を朗読した後、新たに合祀された5名の氏名が刻まれた顕彰プレートが奉納され、参列者が献花し祈りを捧げた。

引き続き、フレンドパーク石川で開かれた「感謝のつどい」では、上田会長や中谷喜和民主党県総支部連合会常任幹事、盛本芳久社民党県連合代表代行が挨拶し、川島靖典退職者連合会長が献杯の音頭をとった。また、出身単組・産別代表が新たに合祀された故人の組合活動歴やエピソードを語り、ご遺族よりお礼の言葉が述べられた。

顕彰会は、政治・労働・文化などの分野で、平和と民主主義の発展、教育・福祉・環境等の向上に尽力された物故者を顕彰し、併せて残されたご遺族を励ますことを目的としたもので、過去に合祀された人たちのご遺族も参列した。

尚、124名が合祀されている「石川県解放運動無名戦士顕彰会」から引き継いだ「石川県大衆

第7回

石川県大衆運動活動家顕彰会

「感謝の集い」



運動活動家顕彰会」には、これまで62名(第1回＝29名、第2回＝7名、第3回＝12名、第4回＝7名、第5回＝3名、第6回＝4名)が合祀されている。

合祀者

山本一男 (1933～2006)

推薦団体：U I センセン同盟石川県支部

主な経歴：大和紡績労組金沢工場支部副支部長

下川宏文 (1930～2007)

推薦団体：石川県友愛連絡会、

U I センセン同盟石川県支部

主な経歴：金沢地区同盟事務局長、
丸益毛織労組書記長

相川正次 (1926～2007)

推薦団体：自治労石川県本部

主な経歴：自治労石川県本部委員長

稲荷 諭 (1948～2007)

推薦団体：全日本たばこ産業労組石川県協議会

主な経歴：全たばこ金沢支店支部委員長

山本信晃 (1938～2007)

推薦団体：全港湾労組七尾支部、

石川県平和運動センター

主な経歴：全港湾労組日本海地方本部委員長

石川県社会法律センター

第30回定期総会を開催

12月10日(月)18時30分より北陸会館で「石川県社会法律センター第30回定期総会」が開催された。

総会では北野進・平和運動センター事務局長を議長に選出、北尾強也理事長(弁護士)が、役員・会員55名の参加者を前に「地道に憲法擁護の戦いを継続していくことが大切であり、全国的にも珍しい石川県社会法律センターを今後とも全国にアピールしていきたい」と挨拶した後、盛本芳久県議が来賓挨拶

した。

議案審議では、経過と活動方針(案)、決算と予算(案)を岩淵正明事務局長(弁護士)が一括提案。その中で、石川労福協を含め、今年度の会員変更はせずに、新たに長井竜也弁護士が弁護団に加盟したとの報告と、併せて長井弁護士の紹介がされた。次に永井勝利監事が会計監査報告し、全議案、提案通り承認された。

引き続き、毎年行われている総会後の講演会では、奥村回弁護士が「志賀原発と地震」と題して、3月25日発生の能登半島地震と志賀原発の関連性と取組みについて講演、20時に散会した。

県LSC事務局次長 南野利明

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク 「第2回総会」全国集会

食とみどり、水を守るいしかわネットワークの「第2回総会」が11月28日(水)、フレンドパーク石川で開かれ、アジア・アフリカ支援米活動「ふれあい農業体験」や森林・水環境の美化に関するボランティア活動、食の安全・安心や食育についての学習会に取組むことなどを決めた。

総会では、連合石川や県労福協、連合総研、民主党石川、社民党石川の代表42名が2007年度の活動・会計報告や2008年度活動方針・予算・役員の案件をすべて承認した。

代表に選出された上田弘志連合石川会長は、「ネットワーク活動が2年目に入り、連合石川としても協力団体の加入を積極的に要請したい」と挨拶した。

引き続き、「食料自給率と環境問題を考える」をテーマに、石川県立大学の辻井博教授が講演した。辻井氏は、農水省の「品目横断的経営安定対策」実施により日本の食料自給率はさらに低下し、日本食文化の維持が困難になり、原風景やその他農業の多面的機能は大きく損なわれる等を解説した。

また、「第39回食とみどり、水を守る全国集会」が12月7～8日、滋賀県大津市の琵琶湖グランドホテルで開催。石川県より上田弘志代表・星野貴男事務局長や幹事、加盟・支援団体(労福協・全農林・県教組・北鉄労組・自治労・情報労連・全国一般・高教組・地協・勤労協)から29名が参加した。



「第2回総会」

「～生命のふるさと『琵琶湖』から～守ろう環境、築こう安心、人と自然の共生を！」をテーマに全国から約950名が集まった会場では、福田精一実行委員会委員長や嘉田由起子滋賀県知事が挨拶した後、初日は3分散会、2日目は6分科会にそれぞれ分かれて学習した。特に、第6分科会「フィールドワーク 琵琶湖の環境学習」は、バスで琵琶湖博物館や水生植物公園みずの森の施設を見学、参加者に好評だった。



石川県立大学の辻井博教授が講演



「第39回食とみどり、水を守る全国集会」

勤体協主催

第41回秋季体育大会が終了

石川県勤労者体育協会主催「第41回秋季体育大会」最終種目の「第38回ボウリング選手権」が11月23日、金沢市ジャンボボールで行われ、団体の第1シフト1部(JBC会員)で夢追人、2部(一般)でクラッシュ、第2シフトの1部で中川崎、2部でキャンディBがそれぞれ優勝した。3部(個人シルバー)では、第1シフトで河上政則(金沢ホープ)、第2シフトで南光明(シニア)が栄冠をつかんだ。第1シフトの1部で魚雅章(北國銀行)がパーフェクトゲームを達成した。

尚、雨天再日程の「ソフトボール県決勝大会」は悪天候に阻まれ中止となった。

勤体協40周年記念事業の最後を飾る「40周年記念親睦ボウリング大会」は11月18日、金沢市

ジャンボボールで職域対抗の部に13チーム、JBC会員対抗の部に8チームが参加。中谷喜和勤体協会長の始球式の後、3人1チームで熱戦を繰り広げた。



40周年記念親睦ボウリング大会

参加者一同はいつもの大会と異なり和やかに楽しむボウリングを味わい、新鮮な果物をはじめ各種賞品をゲットしてご満悦の様子。全員で勤体協の40周年記念を祝福した。

今回の40周年記念事業にあたり、ご支援ご協力を頂いた石川県、金沢市をはじめ多くの自治体、企業団体、労働組合、競技団体に改めて感謝を申し上げます。

石川県勤労者体育協会事務局長 中野俊一

地域ライフ・サポートセンターだより

輪島・穴水 労済研修会

輪島・穴水ライフ・サポートセンター労済部会は、12月3日(月)18時より輪島労働会館で「労済研修会」を開催した。

今回の研修会は、まだ記憶に新しい3月25日に発生した能登半島地震で多くの組合員が罹災したことを受け、全労済の宮本均課長を講師に「住宅保障」について研修した。

冒頭、上野正剛LSC会長が参加者を前に「私も罹災に遭い、全労済から見舞金を頂いた。民間損保はできるだけ出さないようにしているのが実感として分かった。今回の研修会を機に、安心・安全な全労済に結集しよう」と呼びかけた。

研修会では、地震での教訓から、パワーポイントを使って、防

災の知識や生々しい罹災写真や現場認定等について詳しく説明。

参加者15名のほとんどが罹災しており、真剣な眼差しで講師の話を聞いた。

質問では、家庭内の防災対策や「A・損保との査定の違い等、数多くの質問や意見が出され、参加者一同今後の活動に自信をもって研修会場を後にした。

尚、金沢LSCも11月4日(火)、労済会館で上記研修会を実施した。

県LSC事務局次長 南野利明



金沢LSCの研修会

七尾・鹿島

タオル収集キャンペーン

七尾・鹿島ライフ・サポートセンターは、4年目となる「未使用



タオル収集キャンペーン」の取組みを実施した。

一般市民や組合員、労組退職者など幅広い方から約1,900本のタオルを提供いただき、11月15日(木)に地域の特養老人ホーム7ヶ所に贈呈することができた。

各施設では、入所者や関係者から感謝の言葉をいただくなど、今後も、地域ボランティアの一助となるよう当キャンペーンを継続・拡大していきたい。

七尾・鹿島LSC事務局長 井田孝之

第38回石川県消費者大会



第38回石川県消費者大会が11月18日(日)、金沢市の労済会館で「あかるく活気ある暮らしのために」をテーマに構成団体や一般市民ら約100名が参加し開催された。

最初に主催者を代表し、宮本一二実行委員の挨拶の後、来賓の石川県県民文化局県民生活課の近田真理子課長、金沢市市民参画課消費生活センターの宮田敏之所長が祝辞を述べた後、『戦争の後に何が残り、何が生まれるのか』と題し、フォトジャーナリスト郡山総一郎の記念講演が行われた。

郡山氏は、イラクで武装勢力に

一時拘束された日本人三人の1人。また、ミャンマーの反軍政デモの取材中に射殺された長井健司さんの友人でもあった。

講演では、郡山氏からカンボジアの内戦後の現状やタイ深南部の宗教対立をスライドで紹介。アンコールワットで有名な国カンボジアは、未だに約600万発の地雷が埋められている。また、貧困から児童の人身売買や売春、重労働、HIVが一繋がりになっており、その始まりに戦争があることを解説した。タイの宗教対立については「うらみ、憎しみが紛争をつくり、その元となっているのも戦争である!」と話した。

会場からは、「今までで一番怖い思いをされたことは?」や「カンボジアのゴミはどこからくるのか?」、「イラクで拘束された時の状況は?」、「ジャーナリストになったきっかけは?」などの質問が出された。

第2回石川県消費者学校

県消団連は12月3日(水)、フレンドパーク石



川で「第2回石川県消費者学校」を開催した。

冒頭、田上照夫代表幹事の開会挨拶の後、昨年3月に引き続き、税理士・CFPの辻孝生氏が「変わりゆく暮らしの中の税金」をテーマに講演。くらしに関わる「所得税」、「土地・建物の税金」、「相続税と贈与税」の仕組みの変遷や節税対策について解説した。

辻氏は関西弁で、大変楽しく・分かり易い例えで話し、参加者から好評を得た。

県消団連事務局長 表重雄